

# 熱帯寄生虫学分野

## 論文

### A 欧文

#### A-a

1. Shimokawa, C., Senba, M., Kobayashi, S., Kikuchi, M., Obi, S., Oia, A., Hamano, S., Hisaeda, H.: Intestinal inflammation-mediated clearance of amebic parasites is dependent on IFN- $\gamma$ . *J. Immunol.* 2017; 200(3): 1101-1109. doi: 10.4049/jimmunol.1700806.
2. Deloer, S., Nakamura, R., Kikuchi, M., Moriyasu, T., Kalenda, Y.D.J., Mohammed, E.S., Senba, M., Iwakura, Y., Yoshida, H., \*Hamano, S.: IL-17A contributes to reducing IFN- $\gamma$ /IL-4 ratio and persistence of *Entamoeba histolytica* during intestinal amebiasis. *Parasitol. Int.* 2017; 66(6): 817-823.
3. Chadeka, E.A., Nagi, S., Sunahara, T., Cheruiyot, N.B., Bahati, F., Ozeki, Y., Inoue, M., Osada-Oka, M., Okabe, M., Hirayama, Y., Changoma, M., Adachi, K., Mwendu, F., Kikuchi, M., Nakamura, R., Dan Justin, Y.K., Kaneko, S., Hirayama, K., Shimada, M., Ichinose, Y., Njenga, S.M., Matsumoto, S., \*Hamano, S.: Spatial distribution and risk factors of *Schistosoma haematobium* and hookworm infections among schoolchildren in Kwale, Kenya. *PLoS Negl. Trop. Dis.* 2017; 11(9): e0005872.
4. Bao, L.Q., Nhi, D.M., Huy, N.T., Hamano, S., Hirayama, K.: Tacrolimus prevents murine cerebral malaria. *Immunology*, 2017, 150(2): 155-161.

#### A-c

1. Hamano, S. Protozoan Diseases: Amebiasis. In: Quah, S.R. and Cockerham, W.C. (eds.) *The International Encyclopedia of Public Health*, 2nd edition. vol. 6, pp. 64–69. Oxford: Academic, 2017.

### B 邦文

#### B-b

1. 田中美緒, 濱野真二郎: アメーバ赤痢, 医学と薬学 「特集 寄生虫症」, 2017, 74(11), 1399.
2. 田中美緒, 中村梨沙, 濱野真二郎: 住血吸虫症, 小児科臨床, 第70巻増刊号, 2289.
3. 安達圭司・濱野真二郎: One Healthの視点からみた寄生虫感染症, 「特集 One Healthの視点からみた感染症の現状と対策」, 最新醫學, 2017, 70(11)、2407-2414.

#### B-c

1. 濱野真二郎: リーシュマニア症, 今日の治療指針 2017, 医学書院, 2017, 241-243.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	11	0	1	9

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
濱野真二郎 ・教授	理事 (会計・NPO法人化担当) 評議員	日本熱帯医学会
濱野真二郎 ・教授	評議員、教育委員会委員	日本寄生虫学会
濱野真二郎 ・教授	動物実験委員会委員	長崎大学
濱野真二郎 ・教授	運営委員会委員、会計委員会委員	先端生命科学研究支援センター
濱野真二郎 ・教授	学務委員会委員、入試委員会委員、会計委員会委員	医歯薬学総合研究科

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
濱野真二郎 ・教授	GHIT	Co-PI	Live attenuated prophylactic vaccine for leishmaniasis
濱野真二郎 ・教授	Bill Melinda Gates Foundation	分担	DeWorm3: 日本における土壌伝播蠕虫感染動向調査
濱野真二郎 ・教授	AMED	分担	赤痢アメーバ“含硫脂質代謝”を標的とする阻害剤探索 —全容解明と治療薬開発にむけて—
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (A) ヴィクトリア湖湖畔における住血吸虫伝搬ダイナミクスと環境モニタリング
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 南アジアにおけるアメーバ赤痢の免疫学的コホート研究
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) バングラデシュにおけるポスト・カラ・アザール皮膚リーシュマニア症新規診断法の検証  (代表：小林隆志)
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) リーシュマニア症ワクチン開発に向けた宿主免疫記憶機構の包括的解明  (代表：前川洋一)
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 省力的空間分布把握システムによる糸状虫症根絶の確認と再燃の早期発見  (代表：伊藤誠)
濱野真二郎 ・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 潜在性結核の検出と、結核の発症予知技術の確立を目指した、ケニア国における調査研究  (代表：松本壮吉)
中村梨沙 ・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究 (B) 腸赤痢アメーバ症の慢性化と重症化におけるグループ2自然免疫リンパ球の機能解明
濱野真二郎 ・教授	長崎大学・熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点 一般共同研究 内臓リーシュマニア症制圧後の再燃監視機構の構築  (代表：伊藤 誠)
中村梨沙 ・助教	長崎大学・熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点 一般共同研究 赤痢アメーバ“シスト形成”の制御機構の利用  (代表：見市〔三田村〕文香)

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
濱野真二郎 ・教授	非常勤講師（寄生虫学）	九州大学・医学部
濱野真二郎 ・教授	非常勤講師（寄生虫学）	九州大学・大学院医学研究院
濱野真二郎 ・教授	非常勤講師（寄生虫学）	奈良県立医科大学
濱野真二郎 ・教授	非常勤講師（寄生虫学）	山口大学・医学部
濱野真二郎 ・教授	非常勤講師（寄生虫学）	高知大学・医学部